

作成日 2025 年 5 月 20 日

(臨床研究に関するお知らせ)

遠隔外来を受診された患者さんへ

和歌山県立医科大学地域医療支援センターでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における遠隔外来の利用状況に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学地域医療支援センター 教授 蒸野 寿紀

3. 研究の目的

和歌山県では 2014 年から遠隔医療支援システムを用いた遠隔外来を導入しています。遠隔外来では、本学の専門医と和歌山県内にある医療機関とをオンラインで結び、医療の地域格差是正、患者さんの通院負担軽減につながっています。これまで地域医療支援センターでは、遠隔外来の利用件数について集計してきましたが、遠隔外来内での診療内容については十分把握できておりませんでした。そこで、本研究では、遠隔外来受診後にどのような診療につながったかを診療録および録画データから調査することを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2014 年 4 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日までの期間中に、遠隔外来を受診された方

(2) 研究期間

研究実施許可日～2029 年 9 月 30 日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、疾患名、遠隔外来の対象診療科、遠隔外来利用後の当院・他院の受診の有無、転帰、遠隔外来利用理由、病院・診療所の医師からの相談内容、専門医からのアドバイス内容、遠隔外来受診後の対応に関する情報です。

(5) 方法

遠隔外来受診後の問題の解決割合算出します

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学地域医療支援センター

担当者：蒸野 寿紀

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0845 FAX：073-441-0846

E-mail：mushino@wakayama-med.ac.jp